

役員名簿

■運営委員会

運営委員長 田中 耕司 京都大学学術研究支援室・室長
 副委員長 山内 章 名古屋大学農学国際教育協力研究センター長・教授
 運営委員 柏木 純一 北海道大学大学院農学研究院・講師
 運営委員 國分 牧衛 東北大学大学院農学研究所・教授
 運営委員 板垣 啓四郎 東京農業大学国際食料情報学部・教授
 運営委員 石川 智士 総合地球環境学研究所・准教授
 運営委員 江原 宏 三重大学副学長/大学院生物資源学研究所・教授
 運営委員 早川 茂 香川大学農学部長・教授
 運営委員 緒方 一夫 九州大学熱帯農学研究センター・教授
 (順不同・敬称略)

■アドバイザー機関

文部科学省
 農林水産省
 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
 独立行政法人 国際農林水産業研究センター (JIRCAS)



農学知的支援ネットワーク

Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences

(JISNAS)

会 員

【団体会員】

北海道大学大学院農学研究院	東海大学海洋学部	岡山大学農学部
酪農学園大学野生動物医学センター	静岡大学農学部	広島大学大学院生物圏科学研究科
弘前大学農学生命科学部	信州大学農学部	鳥取大学農学部
東北大学大学院農学研究科	岐阜大学応用生物科学部	香川大学農学部
山形大学農学部	名古屋大学大学院生命農学研究所	九州大学熱帯農学研究センター
新潟大学農学部	名古屋大学大学院国際開発研究科	九州大学大学院農学研究院
茨城大学農学部	名古屋大学農学国際教育協力研究センター	宮崎大学農学部
筑波大学大学院生命環境科学研究所	名城大学農学部	鹿児島大学理学部
宇都宮大学農学部	三重大学大学院生物資源学研究所	鹿児島大学国際戦略本部
政策研究大学院大学	京都大学大学院農学研究科	鹿児島大学農学部
International Development Studies Program	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	琉球大学農学部
東京大学大学院農学生命科学研究科	京都大学アフリカ地域研究資料センター	持続的開発のための農林水産国際研究フォーラム
東京農業大学国際協力センター	京都大学東南アジア研究所	アジア経済研究所アフリカ研究グループ
東京農工大学大学院農学研究院	神戸大学大学院農学研究科熱帯有用植物学研究室	(オブザーバー)

(2013年10月現在)

【個人会員】 50名

入会方法

まずは <http://jisnas.com/> にアクセス



農学知的支援ネットワーク事務局

事務局長 浅沼 修一 (名古屋大学農学国際教育協力研究センター・教授)
 事務局次長 今井 成寿 (名古屋大学Ph.D登壇門推進室・特任准教授)

<お問合せ> 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
 名古屋大学農学国際教育協力研究センター内
 TEL:052-788-6166 FAX:052-789-4222
 E-MAIL: jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp
 URL: <http://jisnas.com>



<http://jisnas.com>

設立の目的

農学知的支援ネットワーク(JISNAS: Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences)は、農学分野における教育・研究・社会貢献等に係わる国際協力活動への参加の意図を有する大学間の連携及び大学と我が国の国際農業研究機関との連携を促進することを目的として、2009年11月30日に設立されました。

途上国に焦点を当てた国際教育/研究協力の効果的・戦略的な推進のためには、大学等有する知的資源を組織的かつ継続的に活用し、途上国の多様化・複雑化するニーズに的確に答えていく必要があります。大学を中心とした我が国の専門組織が幅広い知的支援ネットワークを形成し、個々有する知見の範囲に限定されることなく、多機関の有する専門的・網羅的かつ高質な「知と経験」を提供するシステムの構築は有効な手段といえます。国立大学の法人化により、学術分野もますます競争的になっていますが、競争社会という環境を念頭に、単独ではなく協働の成果を上げていくことが期待されます。

JISNAS を通じた国際協力のさらなる推進は、途上国の人材育成のみならず、国際協力に関わる我が国の若手人材の育成等も可能にし、将来の国際社会での我が国の役割の強化に繋がるものと思われまます。関係各位の積極的なご支援 JISNAS の活動に対するご理解・ご参画をお願い申し上げます。

農学知的支援ネットワーク 運営委員長 田中耕司

組織概要

JISNASは我が国の農学系大学を中心とした団体会員及び個人会員により構成され、最高議決機関として全会員により構成される総会及び執行機関としての運営委員会が設置されています。また、文部科学省、農林水産省、国際協力機構(JICA)及び国際農林水産業研究センター(JIRCAS)をアドバイザー機関とし、事務局を、現在、名古屋大学農学国際教育協力研究センター(ICCAE)に置いています。

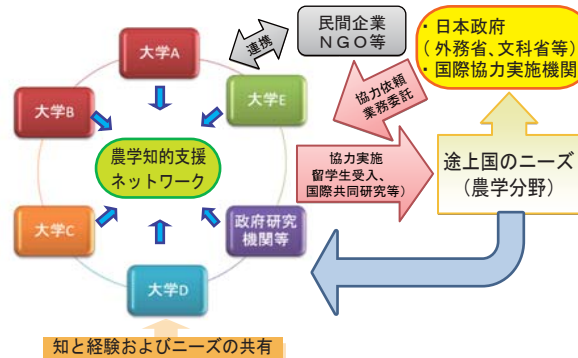
JISNAS は国際協力活動の推進に資するために、国内外の大学、関係府省庁及び国際協力実施機関等と協力して次の活動を行うこととしています。

- (1)国際協力活動実施に必要な業務支援
- (2)分散した知識・技術(人的資源)のネットワーク化
- (3)研究者、教員のモチベーションの維持・向上
- (4)ネットワークの活動による受託事業の促進
- (5)国際協力活動に対する大学関係者及び一般社会の理解促進
- (6)その他、本会の目的を達成するために必要な活動

運営組織の構成



ネットワークの基本イメージ



これまでの主な活動

国際協力人材の育成

JICAと共同で、2011年7月14日、JICA-JISNASフォーラム「アフリカ稲作開発を担う人材育成と日本の協力について」を東京農業大学で開催し、「日本-アフリカ農業教育研究拠点構想」をテーマに、アフリカ稲作分野の人材育成に関する課題と我が国の取り組み、国内外の拠点構想の実現に向けた取り組み、大学とJICAの連携のあり方について、意見を交換しました。

また、社団法人海外コンサルティング企業協会(ECFA)の支援を受け、学生を主な対象とした「開発コンサルタント業務出前講座」の実施を企画・調整しています。



国際科学技術協力等のプロジェクト形成

文部科学省「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業の支援を受けた海外支援ニーズ調査をもとに、地球規模課題対応国際科学技術協力事業(SATREPS)や二国間共同交流事業等に会員大学が応募しました。

また、JISNAS ネットワークの活用を前提としたJICA課題別研修事業「アフリカ地域 稲作振興のための中核的農学研究者の育成」が採択され、会員大学が共同で同事業を実施する予定です。

国際協力活動への提言

国内の知的援助リソースと海外の支援ニーズの調査を行い、分析して農学国際教育協力への提言を纏めました。また、JICA「アフガニスタン未来への架け橋・中核人材育成」プロジェクトに対する会員大学の意見を取りまとめ、文部科学省及び JICA に対し意見具申書を提出しました。

(参照) <http://jisnas.com/files/IReNe2010.pdf>

研究ジャーナル：農学国際協力

JISNAS は、「農学国際協力(Journal of International Cooperation for Agricultural Development)」誌の企画・編集を担っています。



国際協力活動推進のための情報共有

国内関係機関からの公式・非公式な事業募集、大学人材に対する照会及びその他国際協力に係わる関連情報を JISNAS ホームページ及び会員向けニュースレター「JISNAS 便り」(不定期メール送信、月 1、2 回)を通じて、会員間で共有しています。

JISNAS ホームページ <http://jisnas.com>